

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.2
Q1 室内環境			0.40					3.7
1 音環境		1.0	0.15	3.0	1.00			2.8
1.1 騒音		1.0	0.50	2.0	0.50			
1 室内騒音レベル		1.0	1.00	1.0	0.50			
2 設備騒音対策		-	-	3.0	0.50			
1.2 遮音		1.0	0.50	4.0	0.50			
1 開口部遮音性能		1.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能	Dr-55としている	3.0	-	5.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	Lr-45としている	3.0	-	4.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	Lr-50としている	3.0	-	4.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-			
2 温熱環境		1.6	0.35	5.0	1.00			4.6
2.1 室温制御		2.2	0.50	5.0	1.00			
1 室温		3.0	0.63	-	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能	住戸の熱損失係数2.7としている	1.0	0.38	5.0	1.00			
4 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		2.0	0.25	3.2	1.00			3.0
3.1 昼光利用		1.8	0.30	3.4	0.50			
1 昼光率	住戸の昼光率を2.0%以上としている	1.0	0.60	5.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	1.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	3.0	0.50			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		2.0	1.00	3.0	1.00			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		1.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-			
4 空気環境		3.6	0.25	3.6	1.00			3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	F 建材を使用している	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.1
1 機能性		4.1	0.40	3.0	1.00			3.1
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	1.00			
3 バリアフリー計画	移動等円滑化基準の最低限のレベルを満たしている	4.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30	3.0	0.40			
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画	モダンなデザインをテーマにパースによる検証、仕上げの検証を行っている	5.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	風除室の1・2次オートドアは距離を離し土砂の進入に配慮している	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.3	0.31	-	-			3.3
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.8	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	品確法劣化の軽減に関する事で等級3としている	5.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	内装仕上げ更新間隔と16~25年としている	4.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位2種にBを使用しEを使用していない	5.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔	16~30年としている	4.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	3.2	0.19	-	-	-
	2	給排水・衛生設備	3.0	0.20	-	-	-
	3	電気設備	3.0	0.20	-	-	-
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-	-
	5	通信・情報設備	4.0	0.20	-	-	-
通信手段の多様化を図り、精密機械の地下への設置をしていない							
3 対応性・更新性			3.1	0.29	3.1	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	0.50	-
1	1	階高のゆとり	3.0	-	4.0	0.60	-
2	2	空間の形状・自由さ	3.0	-	2.0	0.40	-
階高を2.915としている							
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50	-
1800～2100N/m ² としている							
3.3 設備の更新性			3.1	1.00	-	-	-
1	1	空調配管の更新性	3.0	0.17	-	-	-
2	2	給排水管の更新性	4.0	0.17	-	-	-
3	3	電気配線の更新性	3.0	0.11	-	-	-
4	4	通信配線の更新性	3.0	0.11	-	-	-
5	5	設備機器の更新性	3.0	0.22	-	-	-
6	6	バックアップスペース	3.0	0.22	-	-	-
構造部材を痛めることなく更新修繕ができる							
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		4.0	0.50	-	-	-
緑被率、中高木水平投影面積率の合計が33.51%としている							
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.5
1 建物の熱負荷抑制			5.0	0.40	-	-	5.0
省エネ対策等級4相当としている							
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	-
3 設備システムの高効率化			4.9	0.40	-	-	4.9
潜熱回収瞬間式給湯器を採用							
集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)			#VALUE!	-	-	-	-
集合住宅の評価			4.9	-	-	-	-
4 効率的運用			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水		4.0	0.40	-	-	-
省水型機器を採用							
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.63	-	-	3.1
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		4.0	0.20	-	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24	-	-	-
集成材 パーティクルボード							
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22	-	-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用		5.0	0.32	-	-	-
接着剤、シーリングに採用							
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.68	-	-	-
1	消火剤		-	-	-	-	-
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	-
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮			4.1	0.33	-	-	4.1
排出率72%							
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	-
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3	交通負荷抑制		4.0	0.25	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
建物利用者の適切な駐輪場計画を行っている							
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-	-
2	振動		-	-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-	-
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制			2.3	0.40	-	-	-
1	風害の抑制		2.0	0.70	-	-	-
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	-
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		5.0	0.70	-	-	-
広告物照明を行っていない							
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-